



2022 Round.1 Malaysia

第1戦 セパン国際サーキット

SEPANG INTERNATIONAL CIRCUIT
May 21 [SAT] - May 22 [SUN]
Yogibo FERRARI 488 GT3 [GT3 class]
Naoki Yokomizo
Shoto Mitsuyama

Qualify : Race1 = 1st Race2 = 7th
Race : Race1 = 4th Race2 = 4th

アジアへの挑戦がスタート。灼熱のセパンで存在感をみせる

■ フリープラクティス/予選

Practice & Qualify



2022年、ファナテックGTワールドチャレンジ・アジア・パワード・バイ・AWSに新たな挑戦の場を求めたYogibo Racing。オフシーズンの間に使用するフェラーリ488 GT3 EVO、新たなチーム体制を構築し、いよいよ5月21日(土)～22日(日)に開幕戦を迎えることになった。今季はシリーズ6戦のうち4戦が日本での開催だが、迎えた第1戦の舞台は、マ

レーシアのセパン・サーキット。過去にはF1も開催されたコースだ。もちろん赤道に近く、一年を通じて気温30℃以上という酷暑のなかでのレースとなる。

ここ2年間、コロナ禍のため開催できていなかったシリーズだが、その余波が開幕戦はニュージーランドやマレーシア等から合計8台がエントリー。そんななかで、美しいブルーに彩られたYogibo Racingのフェラーリは大会ポスターに使用されるなど、日本からの唯一のチャレンジャーとして高い注目を集めた。

迎えた5月19日(木)のペイド・プラクティスから走行を開始すると、まずエースの横溝直輝、そして2021年にYogibo Racingのドライバーを務め、今回は代役参戦となる密山祥吾と交代しながら周回。いずれもすくない周回となってしまったが、5月20日(金)のフリープラクティスでは密山、横溝、密山と交代しつつ、少しずつ周回数を伸ばしていった。アジアの強豪たちは速いが、Yogibo Racingは少しずつタイム差

を縮めていき、金曜のオフィシャルプラクティスでは、6番手につけ2日間の走行を締めくくった。そして、ストレートスピードではフェラーリが優位にあることも確認することができた。

明けて5月21日(土)は、二度の予選とレース1が行われる忙しいスケジュール。現地時間午前11時27分からの予選では、それぞれドライバーひとりずつがアタックしレース1、レース2のグリッドを15分ずつの予選で決めるが、予選1回目で横溝が魅せた。

アジアのブロンズドライバーたちが相手とは言え、横溝はいきなり2分07秒686というタイムをマークすると、ライバルたちを寄せ付けずレース1のポールポジションを獲得。記念すべきアジアデビュー戦の最前列につけてみせた。続くレース2の予選では、密山が果敢にアタックするも、ル・マン24時間ウィナーなど強豪ぞろいのなか、2分08秒064で7番手という順位につけ、決勝を見送ることになった。

決勝レース1



現地時間午後3時15分からの決勝レース1。賑やかな雰囲気の中迎えたレースのスタートドライバーを務めたのは横溝だ。栄えあるポールポジションからスタートを切ると、2番手以下のライバルたちのバトルを後目にグイグイとリードを広げていく。まわりは

いわゆるジェントルマンドライバーが多く、横溝のライバルとなり得る存在ではなかった。横溝は前半パートでなるべく多くのマージンを築き、後半世界のトッププロたちと戦う密山に余裕をもたせるべく、スパートをかけていった。

昨年まで参戦していた SUPER GT と異なり、GT ワールドチャレンジ・アジアではピットウィンドウが設けられ、レース開始 25 分から 35 分までの間にドライバー交代とピット作業をこなさなければならない。

ピット時間も規定で特定の車両だけが速いようなことはない。横溝は後半を見据えながら5周目には4秒、10周目には7秒ものリードを築いていった。

スタートから33分が経ち、横溝はピットイン。密山に交代する。練習してきたドライバー交代はうまく

いったが、左フロントタイヤの交換に時間を要してしまふ。これが大幅なタイムロスに繋がってしまい、ライバルよりも40秒もの時間がかかってしまった。

これで密山は5番手にドロップ。その後もストレートスピードを活かしながら、#51 ポルシェとサイド・バイ・サイドのバトルを展開するなどなんとか4位に食い込んだが、狙っていた表彰台にはわずかに届かぬ結果でレース1を終えることになってしまった。



決勝レース2

惜しくも表彰台に届かぬ結果となってしまったレース1から一夜明け、5月22日(日)午後0時にスタートを迎えたレース2。Yogibo Racing は7番手から追い上げを目指すことになった。規定により、この日のスタートドライバーを務めたのは密山だ。アジアのトップと競り合いながら、1周目から#22 アウディと毎周順位を入れ替えるバトルを展開していく。



トップを走るマシンが逃げていくなかで、密山は26分を走りピットイン。横溝直輝に交代する。前日の轍を踏むまいと、チームクルーも密山の頑張りに応え、しっかりと横溝を送り出す。

前日のレース1とは逆のパターンで、今回のレース2でも横溝のステイントはジェントルマンドライバーが多い。その状況を活かし、横溝はレース後半、グングンと追い上げをスタートさせていった。

19周目には#99 メルセデスをとらえ5番手に浮上した横溝は、さらに前方を走る#22 アウディとのギャップを少しずつ詰めはじめていく、ただ、レースも残り時間が一刻と少なくなっていた。



そんななか、横溝は鬼神の追い上げで25周目には#22 アウディをオーバーテイク。4番手に浮上する。ただ、トップ3はその先。またも表彰台には届かぬ4位という結果でレース2を終えることになった。

■ 芳賀美里監督コメント @misato_SUPERGT



Yogibo Racing にとって新たなアジアへの挑戦となる、GT ワールドチャレンジ・アジアの開幕戦となりましたが、土曜のレース1の予選では、横溝選手の素晴らしいアタックによって、Yogibo Racing 初のポールポジションを獲得できました。レース1の決勝はポールからレースをリードし、トップのままピットインすることになりましたが、不運なトラブルもあり、残念ながら4位でのゴールとなってしまう、表彰台に上がることができる大きなチャンスを逃してしまいま

した。悔しいですね。日曜日のレース2は密山選手からのスタートで7番手から追いつけて、順位を上げることができたものの、表彰台にはわずかに届かず、2戦連続の4位という結果となりました。次戦からはしばらく日本のサーキットでのレースになりますが、エントリーも多く増えると聞いておりますし、そんななかで良い戦いができるよう、しっかりとチーム力を上げていきたいです。日本から届いた皆様のご声援に感謝いたします。応援ありがとうございました。

■ ドライバーコメント



横溝直輝 選手 @NaokiYokomizo

新生 Yogibo Racing の結成初レースで、レース1ではポールポジションからスターティンググリッドに並ぶことができたのがとても嬉しかったです。しかし、新チームが挑戦する初めての海外戦で、試練という感じで次々と予期せぬトラブルが起きてしまい、後手後手に回ってしまったことから、表彰台を逃す結果となってしまいました。そんな中でも、チーム初のポールポ

ジションを獲得できましたし、レース内容からも分かるとおり、Yogibo Racing のポテンシャルが高いことを証明できました。次戦からの4ラウンドは日本でのレースとなりますが、30台近くのエントリーがあると聞いております。今回の反省点を活かし、第2戦鈴鹿からはギアを一段上げて、チーム初優勝をプレゼントできるように、しっかりと気合を入れています。



密山祥吾 選手 @MitsuyamaShogo

Yogibo Racing のドライバーとして第1戦に参戦させていただきました。木曜にトラブルが発生してしまいましたが、これがタイヤとのマッチングの面で痛手でした。予選は横溝選手が素晴らしいタイムでポールを獲得してくれました。プロが集まるBドライバー予選は私が担当し7番手と厳しいものでしたが、短い時間の中である程度クルマを理解できたのは良かったと

思っています。レース1ではタイヤ交換でミスがあり、その後は粘り強く走り、4位でチェッカーを受けました。レース2は私がスタートでプロ勢が担当するなか集団に食らいつきましたが、上位陣は速く難しいレースでした。彼らに追いつけるようハードワークが必要です。今回さまざまな弱点が発見できたので、今後が楽しみです。ご声援ありがとうございました！

Information

2年ぶりにシリーズが開催される GT ワールドチャレンジ・アジアは、第1戦セパンを終えいよいよ第2戦から日本を舞台に4戦が争われ、最終戦をインドネシアのマダガラで開催。Yogibo Racing は全戦に参戦予定だ。日本では右記スケジュールで開催予定。ぜひサーキットで Yogibo Racing にご声援を！

第2戦からはいよいよ日本へ！ GTWC アジアは全6戦開催

2022年 GT ワールドチャレンジ・アジア開催日程

7月15～17日	第2戦	鈴鹿
7月22～24日	第3戦	富士
8月19～21日	第4戦	SUGO
9月23～25日	第5戦	岡山
10月21～23日	第6戦	インドネシア

